

日本のロータリーは外国人留学生を
支援しています

2021-22



事業のシンボルマーク

重なり合うハートは「ロータリアン」と「奨学生」です。

外国人留学生の支援・交流を通じて国を超えた
信頼関係を築き、世界の平和を願う“心”を育てるといふ、
事業創設の願いが込められています。

手は、そうした“心”を生み出すと同時に、

当事業がロータリアンの手で支えられていることを示しています。



公益財団法人
ロータリー米山記念奨学会
ロータリー日本国内全地区合同プロジェクト



この冊子には、写真・イラスト、文字・絵柄など、すべてが著作権フリーで掲載されています。
中国工場の複製能力は、この冊子の複製を容易にするため、意図的に制限されています。

RYS. 101T. 2021-09



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

事業のあゆみ

- 1952 ● 東京RCが奨学事業の構想を立案
- 1953 ● 「米山基金」の募金開始
- 1954 ● 奨学生第1号のソムチャード氏がタイより来日
- 1957 ● 新組織「ロータリー米山奨学委員会（委員長：小林雅一氏）」を結成
- 1958 ● 新組織初の奨学生8人を採用
- 1959 ● 世話クラブ制度設置
- 1960 ● 「ロータリー米山記念奨学会」と改称
- 1967 ● 「財団法人ロータリー米山記念奨学会」設立
- 1971 ● カウンセラー制度設置
- 1972 ● 米山功労者制度の設定
- 1978 ● 特別寄付金への免税措置の認可を得る
- 1983 ● 台湾米山校友会（扶輪米山会）正式発足
- 1985 ● 国内初の米山校友会（関東）が誕生
- 1989 ● 4月採用から元ロータリー所在国からの留学生へ門戸を開く
 - 韓国米山校友会正式発足
- 1999 ● 4月採用から全ての国・地域が対象となる
- 2001 ● 日本政府から留学生交流功労団体として表彰される
- 2002 ● 4月採用から指定校・大学推薦制度を全国で施行
- 2004 ● R理事会で米山記念奨学事業が賞賛を受ける
- 2005 ● 4月採用から採用数・奨学金額を縮減
- 2006 ● 制度改編・新制度発足「現地採用奨学金」「地区奨励奨学金」
- 2007 ● 日本全地区によるロータリーの多地区合同奉仕活動としての手続が完了
- 2008 ● ホームカミング制度がスタート
- 2009 ● 中国米山校友会設立
- 2010 ● 中国・韓国の学部生に応募資格が与えられる
- 2012 ● 「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」となる
 - タイ米山校友会設立
- 2013 ● よねやま親善大使制度スタート
 - ネパール米山校友会設立
- 2014 ● モンゴル米山校友会設立
- 2016 ● ソウル国際大会にブース出展、初の分科会開催
 - スリランカ米山校友会設立
 - マレーシア米山校友会設立
- 2017 ● ミャンマー米山校友会設立
 - 財団設立50周年
- 2018 ● 財団設立50周年記念式典



米山梅吉氏 (1868-1946)



第1号奨学生、タイのソムチャード氏 (1929-90)



財団設立50周年記念式典



米山基金の試案を作った古沢文作氏 (1881-1955)



全国組織となって初めて採用された奨学生たち



米山奨学生校友会（関東）創立総会



政府からの表彰状 (2001)



ソウル国際大会米山分科会

背景

- 1945 ● 第二次世界大戦終戦
- 1946 ● 米山梅吉氏逝去
- 1947 ● ポールハリス氏逝去
- 1949 ● 日本のロータリーが国際ロータリーに復帰
- 1951 ● サンフランシスコ講和条約調印
- 1954 ● 国費外国人留学生制度開始
- 1956 ● 経済白書「もはや戦後ではない」
- 1960 ● 新・日米安全保障条約調印
- 1961 ● 東京で国際大会開催
- 1964 ● 東京オリンピック
- 1970 ● 大阪万国博覧会
- 1972 ● 日中国交正常化
- 1975 ● 米山週間を4月に決定
- 1978 ● 東京で国際大会開催
- 1980 ● 米山週間を4月から10月に変更
- 1983 ● 米山週間が米山月間(10月)になる
 - 「留学生受け入れ10万人計画」発表
- 1985 ● つくば万博
- 1989 ● ソウルで国際大会開催
- 1991 ● バブル経済崩壊
- 1995 ● 阪神・淡路大震災
- 2001 ● アメリカ同時多発テロ事件発生
- 2003 ● 在日留学生10万人突破
- 2004 ● 大阪で国際大会開催
- 2005 ● ロータリー100周年
 - 愛・地球博(愛知万博)
- 2008 ● 「留学生30万人計画」発表
 - 米金融危機
- 2010 ● 第2750地区に東京米山友愛RC創立
- 2011 ● 東日本大震災
- 2012 ● 第2750地区に東京米山ロータリーEクラブ2750創立
 - バンコクで国際大会開催
- 2013 ● ロータリー世界平和フォーラム広島開催
 - 第2770地区にさいたま大空RC創立
- 2016 ● 熊本地震
 - ソウルで国際大会開催
- 2020 ● 新型コロナウイルス感染症の流行
 - 日本のロータリー100周年

ロータリー米山記念奨学事業とは？

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会(以下、米山奨学会)は、日本のロータリーが協同で運営する民間奨学団体です。米山奨学会では日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業を行っています。



事業の使命 将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのものです。

なぜ、外国人留学生を支援するのか？

この事業は1952年、東京ロータリークラブ(RC)が発表した「米山基金」に始まります。日本のロータリーの創始者である故・米山梅吉氏の生前の功績を讃え、後世まで残るような有益な事業を行いたい——。東京RCが設立したのは、海外から優秀な学生を日本に招き勉学を支援する奨学金事業でした。その背景には、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、“平和日本”を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したいという、戦後のロータリアンたちの強い願いがありました。



ロータリー米山記念奨学金の特長

交流を大切にしています。奨学生は毎月1回以上、世話クラブの例会に出席し、会員との交流によって日本の社会を知り、ロータリークラブについて学びます。また、奨学期間終了後も「ロータリー学友」として、国際ロータリーの国際的コミュニティに参加することができます。



1

世話クラブ・カウンセラー制度

奨学生一人ひとりに地区内のロータリークラブが「世話クラブ」となります。奨学期間中、奨学生は世話クラブで奨学金を受け取り、交流します。さらに、世話クラブの会員が「カウンセラー」となって、日常の相談役をつとめます。

2

民間最大の国際奨学事業

2021 学年度の奨学生数は 910 人、事業費は 14 億 5 千万円 (2020-21 年度決算) と、外国人留学生を対象とする民間奨学金では国内最大規模です。これまでの累計奨学生数は 22,267 人 (2021 年 7 月現在)、その出身国は世界 129 の国と地域に及びます。



- 米山記念奨学事業は、国際ロータリーから認められた日本のロータリー全地区による多地区合同活動です
- 外国人留学生の支援を通じ、日本と母国との平和の懸け橋になる人材を育て、国際親善に寄与しています

毎年の寄付で事業を運営

2020-21年度の寄付金収入は13億3,684万円と、前の年度とほぼ同額でした。しかし、個人平均寄付額は約500円増の15,516円、また、特別寄付者割合は46.4%と、コロナ禍にありながらも多くのご支援をいただきました。寄付金のほとんどは奨学金に、そのほか、奨学生・学友関係費、地区・世話クラブへの補助費、事業部門の事務局人件費などの事業費に使われています。当会は、財政の健全性・透明性を確保するため、公認会計士による外部監査として、毎月全伝票のチェックを受けています。

収入の部

(単位：千円)

科目	2020-21	2019-20
寄付金収入	1,336,837	1,336,321
普通寄付金	419,178	425,036
特別寄付金	917,660	911,285
配当金	124,830	90,000
利息収入	42,660	48,679
収入合計	1,504,327	1,475,000

支出の部

(単位：千円)

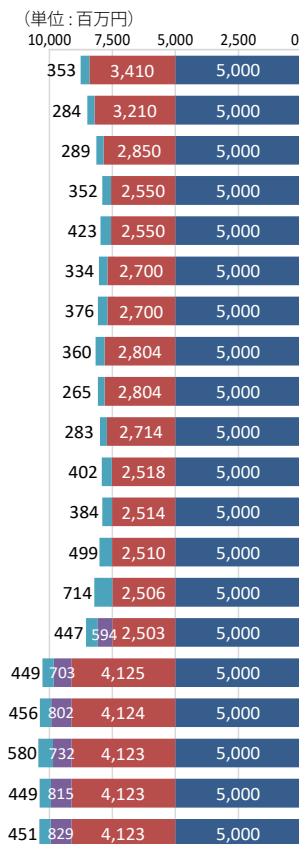
科目	2020-21	2019-20
事業費	1,447,003	1,462,393
奨学金	1,243,250	1,240,413
奨学生・学友関係費	31,903	40,407
地区関係補助費	51,016	53,293
世話クラブ関係補助費	38,378	38,538
広報活動・募金推進費	16,619	19,980
人件費	54,397	58,366
借室料	11,440	11,396
管理費	43,333	45,790
支出合計	1,490,336	1,508,183

当期正味財産増減額 13,991 △ 33,183

基本財産・特別積立財産の推移

(2001~20年度)

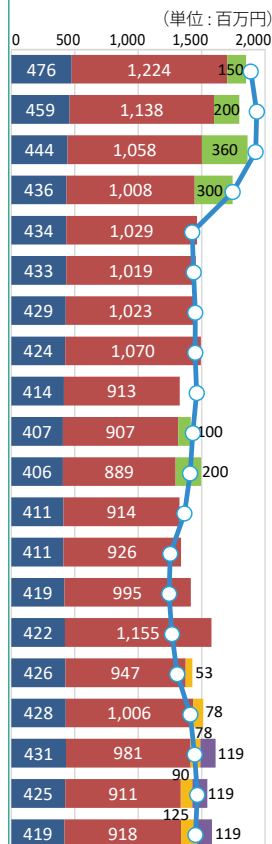
- 基本財産
- 奨学資金特別積立財産
- 奨学事業安定積立資産
- 流動資産ほか



寄付金と奨学金・事業費の推移

(2001~20年度)

- 普通寄付金
- 特別寄付金
- 特別積立財産取崩
- 配当金
- 奨学事業安定積立資産取崩
- 奨学金・事業費



奨学事業安定積立資産について

公益法人には、公益目的事業に係る収入が事業費を超えてはならない（収支相償）という制約があります。当会では、寄付金収入の増加による黒字決算分につき、「奨学事業安定積立資産」（2016年6月理事会で設置承認）に剰余金を積み立て、計画的に奨学事業のために使用します。

学部・修士・博士課程ロータリー米山記念奨学金

大学・大学院生の留学生が対象の代表的なプログラム。
採用者の9割以上を占めます

月額 学部課程：10万円 修士・博士課程：14万円

期間 課程修了までの最長2年間

募集方法 指定校推薦制度

- 対象者**
- 指定校に在籍する正規留学生
 - 採用時に各課程の最終学年、もしくはその一つ前の学年に在籍
 - 45歳未満

地区奨励ロータリー米山記念奨学金

高専専攻科・専修学校高度専門士課程(A)、短大・高専・
専修学校・外国人留学生研修機関(B)の留学生が対象

月額 A：10万円 B：7万円

期間 A：課程修了までの最長2年間 B：1年間

募集方法 指定校推薦制度

- 対象者**
- 指定校に在籍する留学生
(留学、難民、文化活動、研修ビザ)
 - 40歳未満

その他 Bは採用枠1人につき2人採用可

クラブ支援ロータリー米山記念奨学金

現役奨学生の期間延長プログラム。世話クラブが申請し、
延長期間の奨学金の半額をクラブが負担します

月額 学部課程：10万円 修士・博士課程：14万円

期間 6カ月と1年の選択制

募集方法 世話クラブ推薦制度

対象者 10月採用：8/15応募締切
4月採用：10/15応募締切

- その他**
- 本制度による延長を受け付ける地区に限る
 - 地区奨励、海外学友会推薦奨学生は対象外

海外応募者対象ロータリー米山記念奨学金

日本での留学校が決まっている外国人が、来日前に海外
から個人応募できる予約型のプログラム

月額 学部課程：10万円 修士・博士課程：14万円

期間 原則2年間

募集方法 公募制

対象者 申請時に日本以外の国に居住し、日本の大学・
大学院に学位取得を目的として入学する者

- その他**
- 初年度のみ片道渡航費の実費を補助する
 - 各地区1人は割当数以外で採用可

海外学友会推薦ロータリー米山記念奨学金

海外学友会が募集・選考して日本へ送り出すプログラム。
上級研究者が対象です

月額 14万円 ※往復渡航費、宿舍手当の補助等あり

期間 1年間

募集方法 台湾・韓国の各学友会選考委員会による募集・
選考

対象者 現在は台湾・韓国のみ実施。博士号を取得し、
日本留学を希望する上級研究者を対象とする

その他 台湾から2人、韓国から1人枠

Q 危機管理への対策は？

米山奨学生に関わるハラスメントや事故が発生した場合、地区の危機管理委員会で速やかに対応いただきます。米山奨学会事務局では2008年より奨学生のための専用ハラスメント相談窓口(電話/eメール)を設置しているほか、07年から法人として、当会評議員・理事・監事および職員、ガバナー、クラブ会長、地区米山奨学委員長を被保険者とする賠償責任保険にも加入しています。さらに20年4月からは現役奨学生を被保険者とし、例会出席における傷病へ対応できる傷害保険へ加入しています。

地区の奨学生割当数（2022 学年度）

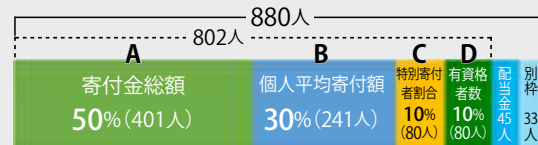
- ・割当数以外の採用もあるため、地区奨学生数とは異なります
- ・2022 学年度は、地区に割り当てる847 人のほか、海外学生会推薦奨学生3 人、海外応募者対象奨学生30 人を加えた880 人枠が全体採用数です

地区	都道府県・市	2022	2021	前年度比
2500	北海道東部	9	9	0
2510	北海道西部	17	22	-5
2520	岩手県・宮城県	11	14	-3
2530	福島県	17	18	-1
2540	秋田県	10	9	1
2550	栃木県	25	23	2
2560	新潟県	25	25	0
2570	埼玉県西北	16	18	-2
2580	東京都・沖縄県	38	38	0
2590	神奈川県(横浜市・川崎市)	37	37	0
2600	長野県	18	15	3
2610	石川県・富山県	21	20	1
2620	静岡県・山梨県	26	26	0
2630	岐阜県・三重県	21	18	3
2640	大阪南部・和歌山県	20	18	2
2650	福井県・京都府・奈良県・滋賀県	52	53	-1
2660	大阪北部	52	47	5
2670	愛媛県・香川県・高知県・徳島県	20	23	-3
2680	兵庫県	24	25	-1
2690	岡山県・島根県・鳥取県	23	25	-2
2700	福岡県・長崎県・佐賀県	25	28	-3
2710	広島県・山口県	23	25	-2
2720	熊本県・大分県	18	19	-1
2730	鹿児島県・宮崎県	14	16	-2
2740	長崎県・佐賀県	14	15	-1
2750	東京都(北マリアナ諸島他)	46	43	3
2760	愛知県	51	51	0
2770	埼玉県南東	38	36	2
2780	神奈川県(横浜市・川崎市以外)	31	30	1
2790	千葉県	26	28	-2
2800	山形県	14	12	2
2820	茨城県	29	31	-2
2830	青森県	10	12	-2
2840	群馬県	26	26	0
計		847	855	-8

年間カレンダー：奨学生が決まるまで

6月 奨学会で地区割当数を決める

- ① 寄付金収入予測に基づき全体採用数を決定（2022学年度：880人枠）
- ② A～D各要素の対全国比と、配当金分を案分し加えた数を地区割当数とします（p9参照）
 - ・2022学年度の地区割当数算出に使用するのは2019-20年度寄付実績です



7月 地区で指定校と被推薦者数を決める

- ・地区米山選考委員会が指定校を毎年選定します
- ・同委員会では、学校説明会を開くなど要望を伝え、奨学生にふさわしい留学生を推薦してもらうよう努めています

8月 募集スタート

奨学会から指定校へ通知するほか、ホームページで指定校・募集要項を発表します

8～10月 指定校での学内選考と申込み

奨学会で申込みを受け付け書類をチェック
応募締切：10月15日

11～1月 書類選考・面接試験

地区ごとに面接官オリエンテーションを実施し、全国共通の基準にしたがって面接選考します



12～2月 合否発表

地区の報告順に学校専用画面で「合格内定」「不合格」を発表。当理事会承認後、3月下旬に合格通知を学校経由で送付します

4月 オリエンテーション

世話クラブ・カウンセラーとの初顔合わせ。確約書にサインし正式に米山奨学生となります

活躍する米山学友

日本初のアフリカ人学長

ウスビ・サコ さん
(マリ出身 1992-94/京都北RC)

高校卒業と同時に国の奨学金を得て中国に留学。中国・北京語言大学、南京市の東南大学等に6年間滞在して建築学を学ぶ。2001年に京都精華大学着任、2018年4月より同大学長に就任し、日本の大学で初のアフリカ出身学長となる。著書に『「これからの世界」を生きる君に伝えたいこと』(2020, 大和書房)。専攻は空間人類学。



新進気鋭のアーティスト

張 媛媛 (チョウ エンエン) さん
(中国出身 2018-19/東京江北RC)

アートの世界で生きることを志して来日。日本で2つの大学院を修了する探究心の持ち主。2019年、若手アーティストの登竜門とされる上野の森美術館大賞展で大賞受賞。東京芸術大学修了展覧会 メトロ文化財団賞受賞。溶かした蜜蝋を亜麻布に染み込ませる技法(エンカウスティーク)で独特な作品を生み出している。



ナノファイバーの世界的第一人者

金翼水 (キム イクス) さん
(韓国出身 1996-98/名古屋錦RC)

信州大学 学術研究員教授(繊維学系)。世界で初めて超極細繊維「ナノファイバー」の量産化に成功、実用化への道を作ったナノファイバーの第一人者。関連特許200件、現在も世界のトップ研究者として活躍。2015年、信州大学ライジングスター教員。2017年、韓国繊維工学会 国際協力功労賞受賞。



これまでに巣立った約2万人の元米山奨学生は、世界各地で活躍しています

原子力分野における日台交流の重鎮

謝 牧 謙 (シャ ボッケン) さん
(台湾出身 1965-67/仙台RC)

台湾核エネルギー研究所に勤務。日台間の「中日工程技术研討会」や「原子力安全セミナー」で長年中心的役割を果たし、原子力分野における日台交流の礎を築いた。福島原子力事故後の正確な情報発信や理解の浸透にも尽力。令和二年「旭日中綴章」受章。輔仁大学兼任教授、台湾大学・文化大学日本研究センター諮問委員。



中性子ビームによる構造解析の匠

ステファヌス ハルヨ さん
(インドネシア出身 1995-97/日立南RC)

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 J-PARC センター研究主幹。設計・建設した中性子実験装置「匠 TAKUMI」の装置責任者。中性子を用いた日本刀などの文化財、車や建造物の内部状態の調査、先端鉄鋼や金属材料の変形機構調査などで成果を挙げている。2019年、日本鉄鋼協会澤村論文賞受賞。



日本の伝統織物を新世代へ

スワンシン・ラッチャタ さん
(タイ出身 2012-14/京都乙訓RC)

大阪成蹊大学で日本画を学ぶ。卒業後、京繻(ぬい)と呼ばれる京都の伝統刺繍技法の工房で働くなかで、若者が憧れる新しい織物文化を作りたいと一念発起し、京都を拠点とする伝統工芸・アートのデザイン&企画会社「株式会社MONOHA」を創業。和装のデザインや企画、西陣織のネクタイなどを考案、販売している。



学友会について

期間終了後は必ず学友会に！

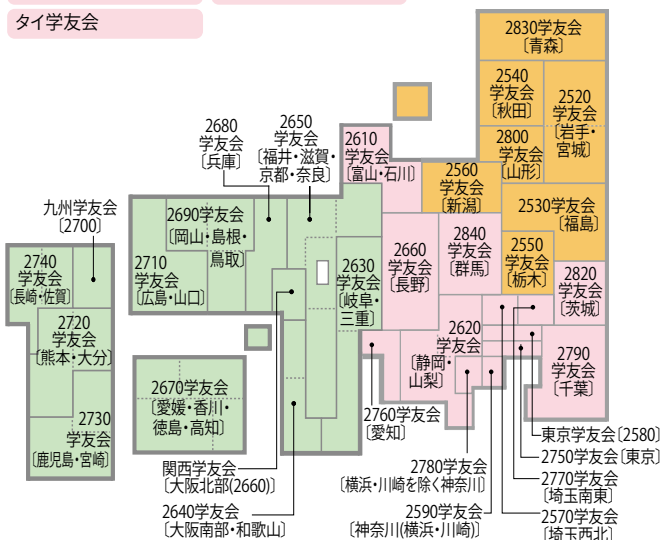
米山学友会は、学友(元奨学生)を中心とする同窓会組織です。日本に33(34ロータリー地区)、海外に9(台湾・韓国・中国・タイ・ネパール・モンゴル・スリランカ・マレーシア・ミャンマー)、計42の学友会があります。

- ✓ 奨学期間終了後も、転居・就職・転職などの都度、米山奨学会のHPから情報更新するよう、学友に奨励してください
- ✓ 登録住所により、該当する学友会から学友へ案内が届きますが、いずれの学友会にもイベント参加、所属することが可能です
- ✓ 米山奨学会から学友会へ補助費を支給しています。国内には活動補助費と会報補助費、海外には上限20万円(年)で、いずれも書類の提出が必要です

海外

台湾学友会	北部地区	ネパール学友会
	中部地区	モンゴル学友会
	南部地区	スリランカ学友会
正式名称: (社) 中華民國扶輪米山会		スリランカ学友会
韓国学友会		マレーシア学友会
中国学友会(上海・華北)		ミャンマー学友会*休止中
タイ学友会		

国内



学友会の活動紹介【海外編】

台湾

2009年に「日本人若手研究者奨学金」を設立、これまでに累計42人の日本人留学生を支援しています。また、21年7月に静岡県で発生した熱海市土石流災害にいち早く支援を申し出、学友が出合った約150万円の義援金を贈りました。



中国・上海

学友・柴生芳さんの遺志を継いで、2015年から毎年、甘肅省臨洮県の貧しい小学校へ図書室寄贈、奨学金支給など教育支援を継続しています。



韓国

2016年から毎年、韓国へ留学中の日本人へ奨学金を支給し支援しています(累計20人)。そのほか、帰国学友の歓迎会を行っています。



マレーシア

日本の観光地を紹介するバーチャルツアー、後輩たちのためにオンラインキャリア相談会を開催し、好評を博しています。



タイ

コロナと闘う医療機関への義援金のほか、貧困村の学生へ、古着や文具、薬、日用品などを寄贈しました。



学友会の活動紹介【国内編】

第2530地区 福島

オンライン「奨学生体験発表会」を実施しロータリアンから好評



第2820地区 茨城

茨城県のシンボルの一つ、筑波山のゴミを回収する美化活動



第2580地区 東京

地区主催の「学友の集い」で米山学友会をPR、母国の踊りや二胡、日中伝統楽器合奏を披露



第2590地区 神奈川

奨学生とのオンライン座談会開催のほか、地元子ども食堂へ支援金を寄付



第2760地区 愛知



他学友会にも声を掛け、東京2020オリンピックの自転車ロードレース決勝で選手を応援！

第2660地区 大阪

奨学生の勉強会やメンター制度で先輩が奨学生をサポート



第2730地区 鹿児島・宮崎

学友・奨学生、ロータリアンが共に作り上げる国際料理大会



学友のスピーチで感動を共有

第4代

よねやま親善大使のご紹介

よねやま親善大使は、日本全国の地区を訪問し、スピーチと交流によって米山記念奨学事業の理解を深めるPR活動をしています。地区の行事やIMなどのスピーカーにぜひお呼びください！

ウォーターズ・カレン・ジュリア (1992-94/京都南RC)



オーストラリア出身。株式会社Global Waters代表取締役社長。Burleigh Heads RC (第9640地区) 会員。2019-21年度第2650地区米山学友会会長。日本の子どもたちへの国際理解教育と奉仕の心を育てる活動に奮闘中。

アドゥアヨム アヘゴ, アクエテビ (2014-15/新発田城南RC)



トーゴ出身。アフリカで不足する義肢装具の開発研究に尽力。日本の中古部品を活用した義肢をアフリカに提供する活動も。東京パラリンピックへの出場を目指すトーゴ代表選手の義肢プロジェクトもサポート。

李 昱昊 (2016-17/東京銀座RC)



中国出身。中国の弁護士と日本の行政書士の資格を持つ。日中交流団体代表として若者の交流促進に尽力するなどの奉仕活動も行う。2020年度第2750地区米山学友会幹事、2019-20年度東京西ローターアクトクラブ会長。

ホームカミング制度で学友を招待することもできます！

活躍する元米山奨学生(学友)を招待し、現在の活躍をスピーチしてもらうことで、地区内の米山記念奨学事業に対する理解を深めていただく制度です。

- ・国内外で活躍する学友を、1地区につき年間2人まで
- ・1人につき上限25万円の実費補助あり

制度の詳細や申請書ダウンロードはこちら



寄付の種類

米山奨学会への寄付は2種類です。この事業は皆さまからの毎年の寄付で運営されています。また、地区の奨学生数はほぼ寄付額で決まりますので、継続的なご支援をお願いいたします。

安定財源として、各クラブが決定した金額を会員数分、毎年全クラブから納入いただいています。

普通寄付金
全国平均 **4,865** 円

個人・法人・クラブからの任意寄付。金額に決まりはなく、ロータリーアン以外の方からもお受けします。

特別寄付金
全国平均 **10,651** 円

寄付をするには

寄付金送金明細
ダウンロードや
手順はこちら→



- 所属クラブがとりまとめて下記口座へ送金後、寄付金送金明細をお送りください
- クラブを経由せず、直接当会へ送金も可能です。事前に事務局(p30)までご連絡ください
- クレジットカードはお取り扱いしておりません

三井住友銀行 京橋支店
普通預金 0920373
口座名義：公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

Q なぜ普通寄付金が必要なのですか？

当事業は、毎年いただく寄付金だけで成り立っています。特別寄付金は任意寄付なので、年間約900人へのほる奨学金の安定財源として普通寄付金が必要です。また、1967年に財団法人の認可を申請した際、普通寄付金による一定収入が見込めると文部省(当時)を説得し、国内全クラブから普通寄付の確約をもらうことを条件に設立許可を得た経緯があるためです。

寄付に対する表彰制度

米山へのご寄付は個人・法人・クラブそれぞれに累積し、一定金額に達した時点で表彰させていただきます。「達成クラブ」以外は、すべて特別寄付金が対象です。*2007年7月改定

個人寄付への表彰 (対象：特別寄付金)

累計額	表彰名	表彰品
3万円	準米山功労者	なし
10万円	第1回米山功労者	感謝状【青色】
20万～50万円	(以降10万円毎に) 第2回～9回	感謝状【銅色】
60万～90万円	米山功労者マルチプル	感謝状【銀色】
100万～390万円	第10回～ 米山功労者×ジャードナー	感謝状【金色】 +100万円毎に ピンバッジ
400万円～		感謝状【金色】 +100万円毎に クリスタル盾



* 累計100万円未満は10万円ごとに感謝状を、100万円以降は10万円ごとの感謝状に加え、100万円ごとにピンバッジ(400万円以上はクリスタルの盾)が贈られます

法人寄付への表彰 (対象：特別寄付金)

累計額	表彰名	表彰品
5万円	準米山功労法人	なし
50万円	米山功労法人	感謝状
100万円～	(以降100万円毎に) 米山特別功労法人	感謝状と盾



クラブへの表彰

累計額	表彰名	表彰品
100万円毎	米山功労クラブ	感謝状
1000万円毎	達成クラブ	感謝状
-	クラブ創立記念特別寄付	盾(10万円以上の場合)

* 「米山功労クラブ」はクラブ扱い・個人・法人すべての特別寄付金が対象
* 「達成クラブ」は普通寄付金・特別寄付金の合計金額が対象

- 表彰品が不要な場合は、クラブ事務局へお申し出ください

米山記念奨学会への寄付は、寄付金控除の対象です！



ロータリー米山記念奨学会は内閣府より「公益財団法人」の認定を受けているため、当会への寄付は①所得税、②法人税の税制優遇が受けられます。③相続税も非課税となります。

- ✔ 「税額控除」も選ぶことができます
従来の「所得控除」に加えて「税額控除」のいずれか有利な方式を選択いただくことができます。
- ✔ 普通寄付金分も申告用領収証を発行します
クラブからの申請が必要です。

1 個人として寄付をした場合 (AorB)

「所得控除」と「税額控除」のいずれかを選択し、確定申告によって、納める所得税が減少します。東京都にお住まいの方は、個人都民税の寄付金控除も受けることができます。

A 所得控除なら・・・

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{課税所得} - \text{寄付金額} \\ \text{所得の40\%を限度} \end{array} \right\} \times \text{税率} = \text{納める所得税}$$

B 税額控除なら・・・

$$\left[\begin{array}{l} \text{控除額 (所得税額の25\%を限度)} \\ \text{所得税額} - \text{寄付金額} \end{array} \right] \times 40\% = \text{納める所得税}$$

所得の40%を限度

どのくらい減税できますか？ 最大で寄付金額の約4割、所得税が減少します！

年間の課税所得額750万円の方が計10万円を寄付した場合

A 所得控除：98,000円 × 23%^{※1} = 22,540円

B 税額控除：98,000円 × 40% = 39,200円

※1 所得税率は、課税所得額によって5%～45%の7段階に区分されています。詳しくは国税庁のホームページをご確認ください
* 寄付金控除を受けるためには確定申告が必要です
* 他の控除等により変動します。計算例は参考にとどめてください

2 法人として寄付をした場合

一般の寄付金の損金算入限度額とは別枠で損金算入することができます。これにより、法人税額が軽減されます。限度額は、その法人の資本や所得の金額によって異なります。詳しくは各法人の経理担当部門に確認するか、国税庁の「特定公益増進法人に対する寄附金」のページをご覧ください。

3 遺言による寄付をする場合

生前に遺言書を作り、所定の手続きで当会へ遺産を寄付するご意思を示された場合、遺贈した財産は相続財産から控除され、相続税額が軽減されます。また、相続人が相続によって取得した財産を10カ月以内に寄付した場合も、寄付した財産に相続税が課税されません。次世代の留学生支援・人材育成のため、遺産計画の際には、米山記念奨学会へのご寄付も検討いただければ幸いです。

申告用領収証の発送はいつ？

1年間(1~12月)に特別寄付をした方へ、翌年1月末日まで(確定申告に間に合うよう)に、申告用領収証と税額控除に係る証明書(写)をロータリークラブを通じてお届けします。法人の場合は、ご寄付いただいた都度、申告用の書類をお送りしています。

「紺綬褒章」の公益団体に認定

当会は2018年、内閣府賞勲局より「紺綬褒章」の公益団体認定を受けました。これにより、同年9月12日以降、個人では500万円以上、団体、企業等は1,000万円以上をご寄付をいただき、定められた条件を満たす場合に、紺綬褒章の授与申請をいたします。あらかじめお申し出いただいた場合、分納によるご寄付も可能です。詳しくは当会事務局まで。

画像は内閣府 HP より

地区別寄付実績【2020-21年度】

2020-21年度の平均寄付額は一人あたり15,516円、最も多い地区は第2590地区で27,421円でした。また、特別寄付者割合^注の全国平均は46.4%でした。

注：寄付者割合は「特別寄付（個人）をした会員数」を「地区会員数（2021年1月1日現在）」で割った数値です

地区	特別寄付		個人平均寄付額 (円)
	法人	個人(%)	
2590 神奈川県 (横浜市・川崎市)	79	81.1	27,421
2660 大阪北部	77	71.5	26,279
2770 埼玉県南東	19	74.0	26,097
2820 茨城県	99	71.4	23,453
2650 福井県・京都府・奈良県・滋賀県	185	81.3	21,459
2580 東京都・沖縄県	33	28.8	20,119
2780 神奈川県 (横浜市・川崎市以外)	31	69.3	19,633
2840 群馬県	56	85.9	19,383
2550 栃木県	16	75.6	18,538
2750 東京都 (北マリアナ諸島他)	55	41.6	18,328
2560 新潟県	137	63.9	16,659
2790 千葉県	72	40.4	16,413
2640 大阪南部・和歌山県	11	57.7	15,048
2690 岡山県・島根県・鳥取県	26	37.0	14,408
2530 福島県	1	50.2	14,399
2620 静岡県・山梨県	135	71.5	14,331
2700 福岡県・長崎県・佐賀県	4	26.5	14,218
2760 愛知県	229	31.8	13,866
2610 石川県・富山県	29	29.2	13,561
2600 長野県	12	20.8	13,543
2670 愛媛県・香川県・高知県・徳島県	10	32.3	13,452
2680 兵庫県	22	43.7	13,338
2710 広島県・山口県	17	35.8	12,994
2570 埼玉県西北	4	37.6	12,665
2740 長崎県・佐賀県	6	16.3	11,518
2800 山形県	32	36.2	11,334
2510 北海道西部	55	40.4	10,131
2730 鹿児島県・宮崎県	7	27.6	10,072
2830 青森県	0	43.1	9,572
2630 岐阜県・三重県	20	41.4	9,546
2720 熊本県・大分県	4	43.2	9,458
2540 秋田県	3	30.4	8,957
2520 岩手県・宮城県	3	19.2	7,708
2500 北海道東部	6	17.8	6,293
2020-21年度全国平均 *法人寄付のみ実数	1,495	46.4	15,516

よくあるご質問

Q 申告用領収証を紛失しました

当会へご連絡いただければ再発行します。その際、領収証に「再発行」と記されます。

Q 退会した会員の寄付実績を、他会員に引き継ぐことはできますか？

配偶者や子どもなどご家族に限り、寄付実績の譲渡が可能です。引継ぎを希望する場合は、ご寄付の際の送金明細に記載しご連絡ください。

Q 会員ごとの寄付実績を知りたいのですが

個人の寄付額はホームページに掲載していません。eメールかFAXでお送りしますので、寄付担当者までご連絡ください。eメール: kifu@rotary-yoneyama.or.jp

Q 普通寄付も控除の対象になりますか？

クラブ事務局からの申請により、普通寄付金分の申告用領収証を発行することができます。締切は毎年11月末日です。申請には、会員氏名を入力したデータと、当会ホームページからのアップロードが必要です。

ご注意ください！

- クラブの会費から普通・特別寄付金を拠出している場合、
- ①「個人事業主」様は、個人の事業所得計算上、クラブ会費が「必要経費」にならないため、確定申告時に寄付金控除ができません
 - ②「法人事業者」様は、法人所得の計算上、クラブ会費が「交際費」としてすでに損金算入されているため、寄付金の領収証を確定申告に使用することはできません

Q 寄付の締め切りはいつですか？

個人の確定申告用領収証は毎年12月末日、ロータリー年度は6月末日までの入金を区切りとしています。

Q コロナ禍における奨学生への対応はどうなっていますか？

奨学金は、世話クラブ例会での手渡しを基本としていますが、例会が長期休会になった場合、銀行振込や例会以外での手渡しを認めています。また、一時帰国により奨学生が例会に出席ができない場合、月に1回「奨学生報告書」を世話クラブ経由で提出してもらっています。コロナ禍であっても、オンラインによる例会参加や、SNSを活用したクラブへの近況報告など、工夫を凝らしたコミュニケーションを続けていただいています。

Q 奨学期間が終わったら連絡がありません

学友の中には、仕事や研究で成果をあげてからでなければ、連絡をしづらいと考える人がいます。また、国情によって通信状況が安定せず、日本にいた時のように連絡が取れない場合もあります。世話クラブ側も定期的に週報を送ったり、周年行事に招待するなど、交流を続ける働きかけをお願いします。

Q なぜ中国人奨学生が多いのですか？

現在、日本の高等教育機関で学ぶ外国人留学生の43.4%が中国人であることが影響しています。ただし、各地区選考委員会は指定校に対して「推薦者は1カ国に偏らないように」などの要望を出し、選考過程において国籍バランスや中国国内の出身地域が多様になるよう配慮しています。

Q 経済的に貧しい日本人は対象になりませんか？

当財団は1967年の設立趣意書に基づき、一貫して外国人留学生を対象としています。グローバル補助金・地区補助金で日本人学生の支援が可能です。また、国の政策として、「高等教育の無償化に向けた大学等修学支援法」により、低所得者層の学生は学費減免と給付型奨学金（返済不要）を受給できます。このほか、被災・家計急変時の支援制度（給付／貸与型奨学金）、JASSO災害支援金、大学独自の奨学金などがあります。

Q 世話クラブへの補助金はありますか？

あります。奨学生1人につき年間4万5千円を毎年7月に世話クラブへ送金します。奨学生分の『ロータリーの友』購読費、クラブや地区の行事参加費など、奨学生のために支出した費用にお使いください。特に、カウンセラー個人の経済的負担が大きくなるようご配慮ください。

Q 他のロータリー学友との違いは？

いずれのプログラムも国際交流によって異文化への理解を促し、ロータリーの願う世界平和を追求するという点で一致しており、同じ「ロータリー学友」です。

ロータリー平和フェロー【ロータリー財団】

平和と開発の分野でキャリアをめざす人のための全額支給奨学金。ロータリー平和センター提携大学で学ぶ最高130人が、毎年世界中から選ばれます。修士号取得プログラム（15～24カ月）と専門能力開発修了証プログラム（12カ月）があります。

ロータリー奨学生【ロータリー財団】

グローバル補助金による奨学金は、重点分野いずれかに関わる研究のため、大学院または同等の研究機関における1～4年間の留学が支援されます。日本からは年間約40～50人を送り出しています。また、地区補助金による奨学金を実施する地区もあります。

ロータリー青少年交換学生【国際ロータリー】

15～19歳の学生を対象（年齢設定は地区決定）とする交換留学プログラムです。世界で約8,200人が参加。長期交換（1年間）は複数のホストファミリー宅に滞在しながら、現地の学校に通います。短期交換（数日～数カ月間）は、学校の長期休み中に行われます。

ロータリー米山記念奨学生【ロータリー米山記念奨学会】

日本のロータリー独自の多地区合同活動として、在日外国人留学生を対象とし奨学金を支給しています。奨学生数は年間約900人、日本のロータリアンとの心の交流によって、将来、日本と世界とを結ぶ懸け橋となる人材を育てます。

Q 米山梅吉記念館やロータリー財団との違いは？

それぞれ別法人であり、財団設立の目的や歴史、運営が異なります。

公益財団法人米山梅吉記念館

米山梅吉氏の遺徳を偲び、その偉業を顕彰することを目的として昭和44年に開館。館内は梅吉氏の生涯と日本のロータリーの歩みが展示されているほか、ロータリーの文献資料を備えている。10-16時、月曜休館。

【事業内容】

米山梅吉記念館の運営／ロータリーの文献を蒐集、整理、保管／研修室の運営

米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
電話:055-986-2946 FAX:055-989-5101

国際ロータリーのロータリー財団

人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることを使命とする。

【事業内容】

地区補助金、グローバル補助金による奨学金、職業研修チーム、人道的プロジェクト／ロータリー災害救援補助金プロジェクト／ポリオ・プラス／ロータリー平和フェロシシッププログラム

国際ロータリー日本事務局(財団室)

〒108-0073 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル24階
電話:03-5439-5805 FAX:03-5439-0405

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

勉学または研究のために来日し、大学等教育機関に在籍する外国人留学生に対して奨学金を支給し、よってロータリーの理想とする国際理解と親善に寄与することを目的とする。

【事業内容】

奨学金の支給、その他この法人の目的を達成するために必要な事業

ロータリー米山記念奨学会

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
電話:03-3434-8681 FAX:03-3578-8281

よねやまの資料をご活用ください

動画で理解を深める

✓ 絆 in モンゴル オープニング映像 2019年9月、19分

絆inモンゴルのためにモンゴル米山学会が制作した米山奨学事業紹介映像を再編集。7分30秒の短縮版もあります

✓ 世界へ届け 米山の懸け橋 2017年9月、15分

日本のロータリーの礎を築いた米山梅吉翁の生い立ちや、当事業の特徴、学友の活躍などを紹介。英語版もあります

当会のYouTubeチャンネルで新しい動画を随時公開!ぜひ登録をお願いします [YouTubeページはこちら→](#)



冊子で事業の概要を知る

✓ 豆辞典

ロータリアン必携の当冊子

✓ リーフレット (日本語版/英語版)

簡単な事業紹介。一般の方々や新入会員に

✓ 米山学友の群像

活躍する学友を紹介するvol.1~5、学友会特集号もあります



ブース装飾やイベントなどに

✓ ロゴ旗 (大 H210cm × W140cm・小 H135cm × W90cm)

地区大会の壇上掲揚や例会場でご使用いただけます

[貸出](#)

✓ タスキ [貸出](#)

学友や奨学生が集まるイベントに

✓ ポスター

新聞紙を広げた大きさのA1サイズ

✓ スタンド式バナー 有料 8,200円

高200cm幅80cm(設置時)、巻き取り式でコンパクト収納



インターネットで米山の情報をキャッチ!

✓ ホームページ

最新の情報を掲載しています

ハイライトよねやま

寄付金納入明細表

奨学金情報

✓ フェイスブック

米山のFacebookページに「いいね」をお願いします



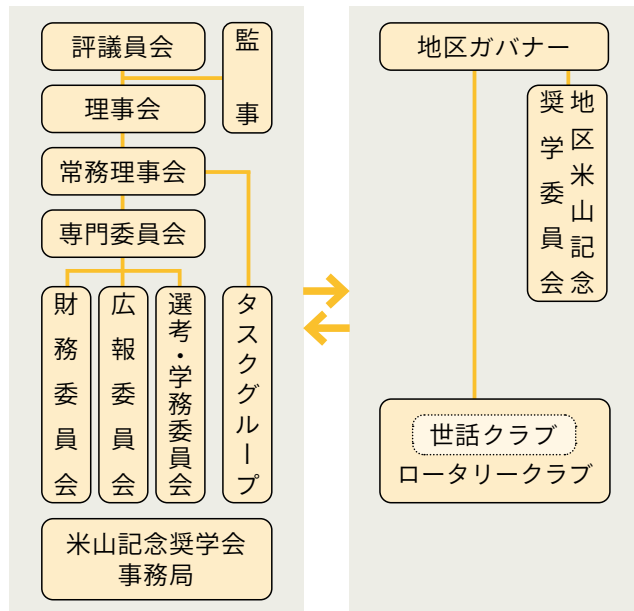
理事長と歴代理事長

2018～第七代理事長 齋藤 直美(さいとう だみ)		2014-18第六代理事長 小沢 一彦	2007-14第五代理事長 板橋 敏雄
	2016-18年度 国際ロータリー理事 第2760地区 2006-07年度ガバナー 豊田RC		
2001-07第四代理事長 島津 久厚	1992-2001第三代理事長 末永 直行	1973-92第二代理事長 湯浅 恭三	1967-73初代理事長 田 誠
			

2021年度 評議員・理事・監事

評議員	成瀬 則之 2500	理事長	齋藤 直美 2760
	安孫子 建雄 2510	副理事長	山崎 淳一 2830
	濱守 豊秋 2520		水野 功 2750
	渡邊 公平 2530	常務理事	滝澤 功治 2680
	平澤 孝夫 2540		相澤 光春 2780
	羽石 光臣 2550		井原 實 2770
	佐々木 昌敏 2560		駒井 英基 2740
	和田 廣 2800	理事	東堂 明 2500
	佐々木 千佳子 2830		嵯峨 義輝 2510
	細井 保雄 2570		桑原 茂 2520
	上山 昭治 2580		鈴木 邦典 2530
	湯川 孝則 2590		地葉 新司 2540
	望月 宗敬 2600		栃木 秀磨 2550
	炭谷 亮一 2610		新保 清久 2560
	積 惟貞 2620		大久保 章宏 2800
	猿渡 昌盛 2750		加藤 玄静 2570
	神野 重行 2760		鈴木 孝雄 2580
	田中 徳兵衛 2770		大野 清一 2590
	山地 裕昭 2780		島田 甲子雄 2600
	宇佐見 透 2790		崎山 武夫 2610
	佐藤 衛 2820		井上 雅雄 2620
	田中 久夫 2840		関口 徳雄 2790
	桑月 心 2630		北村 仁 2820
	成川 守彦 2640		竹内 正幸 2840
	橋本 長平 2650		辻 正敏 2630
	松本 進也 2660		村上有 司 2640
	豊田 章二 2670		北河原 公敬 2650
	丸尾 研一 2680		山本 博史 2660
	伊藤 文利 2690		稲山 三治 2670
	安増 惲夫 2700		佐藤 芳郎 2690
	金子 克也 2710		吉田 知弘 2700
	高山 泰四郎 2720		吉原 久司 2710
	川原 篤雄 2730		岡村 泰岳 2720
	宮崎 清彰 2740		押川 弘巳 2730
			若林 紀男 2660
			飯村 慎一 2550
			高良 明 2590
			監事

事業の組織図



米山記念奨学会事務局職員

事務局長 柚木 裕子 選考・学務 柴原 めぐみ
 事務局次長 峯 純子 選考・学務 米山 恵 莉
 財務・経理 加藤 いずみ 学務・学友 北村 聡 子
 寄付増進 大庭 陽子 広報・企画 野津 美由紀
 システム 森 尚子

米山記念奨学会事務局所在地

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 事務局

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階
 電話：03-3434-8681 FAX：03-3578-8281

交通アクセス

- ・都営地下鉄三田線『芝公園駅』A3出口より、徒歩1分
- ・都営地下鉄浅草線・大江戸線『大門駅』A3またはA6出口より、徒歩6分
- ・JR山手線・京浜東北線『浜松町駅』南口より、徒歩8分

Google地図は
こちら→

